

私家本「Micro Graphic きのご解体図譜」を公開頒布します

Micro Graphic
きのご解体図譜

竹橋誠司・竹橋睦子

2016

NPO法人 北方菌類フォーラム

「Micro Graphic きのご解体図譜」

Micro Graphic of Mushrooms

竹橋誠司・竹橋睦子 ISBN 978-4-9905010-3-7

出版 NPO 法人北方菌類フォーラム

A5 版 311 頁 ハードカバー上製本 オールカラー

記載・紹介 416 種

ハラタケ類 300 種、イグチ類 31 種、ヒダナシタケ類 26 種、腹菌類 11 種、キクラゲ類 7 種、子のう菌類 41 種
(日本新産種とすべき多くの記載が含まれています)

発行部数を限定した予約頒布を行います

予約申し込み 10 月末日まで

頒布予定価格 5,800 円(税込み)、送料別途

配本予定 11 月下旬

予約は左記まで e-mail bxg0204@nifty.com

予定部数に達しない場合、頒布価格が高額となるため頒布を中止することがありますので、あらかじめご了承ください。

見開きページのイメージ 左: 記載文、右: 生態写真、光学・電子顕微鏡による画像と線画

上は白色、縁の繊維質、つば下は茶褐色、中空、根元に粒状の鱗片をリング状に付す。かさ鱗皮はソーゼン形〜こん棒形、隔壁があり連続状に連なる、クランプがある。つばは円筒形あるいは膨大した紡錘形、クランプがある。蹄シシチアはこん棒形〜洋梨形、無色。担子胞子は狭楕円形〜円柱形、7-8 × 2.5-3 μm、無色、平滑。

81. *Entoloma abortivum* タマウラベニタケ

広葉樹の腐朽した倒木上に群生。

子実体はほしわかナラタケ類の寄生により白色の団子状の塊を作る。かさは釣鐘形、成熟すると平開する、灰白色、光沢がある。肉は灰白色、堅い、ひたは長く産生、白色、のち肉色(ピンク色)、密。柄は円筒形、上下同大、白色、縁の繊維質、上部は灰褐色の微粉状、中実、根元は白色菌糸に被われる。粉臭い。

82. *Entoloma aprile* ハルトガリツッポンシメジ

標本データ: TNS-F-24627、2007-5.12、石狩市・新港西防風林、早春〜春、ドロノキ樹下に東生状に群生。

かさは最初円錐形、のち釣鐘形、やがて中高に平開する、通常中心部は鋭く尖る、あるいは凸状、明褐色、乾燥すると褐色〜暗褐色、平滑、光沢がある、吸水性、湿時に粘性〜やや粘性を示す。放射状の繊維状菌糸を被す。蹄部は時に裂ける。肉は白色、表皮下は淡褐色、クアヤック液で変色しない。ひたは薄入り産生、帯ピンク褐色、やや硬、厚みがある。縁は平滑、クアヤック液で変色しない。柄は円筒形、淡灰褐色、頂部で淡色、上下同大、時に扁平、下部に向かって細くなったり太くなったりす。鱗A時にL字状に屈曲する。縁の溝糸線を表す、綿毛状の繊維や立ち上がった小鱗片を付す、根元は白色の菌糸に被われる。肉は白色、中実、クアヤック液でゆっくりと青緑に変色する、基部に菌糸束がある。柄の基部から伸びた菌糸束の先端は、ドロノキの細根に形成された菌根と繋がる。菌根はこん棒形、5.5 × 3.5 mm、白色の菌糸に包まれフェルト状。菌根形態は外生菌根の皮層細胞にハルツェヒネットが形成されず、いわゆるハルシメジ型菌根を形成する。

かさ表皮は粘質表皮、周縁〜立ち上がり菌糸、菌糸の末端は塊状〜狭紡錘形、最上層は径2-5 μmの繊維状菌糸、無色、あるいは帯黄褐色の色素を含む、ときに不整形で顆粒状と反射する内容物を含む、平滑、あるいは脱皮状、中間層は紡錘形〜円筒形、径10-15 μm、帯黒褐色の色素を含む、クランプを欠く、柄表皮は円筒形、末端菌糸はこん棒形〜円筒形のシシチア細胞、37-70 × 6-13 μm、やや厚壁、細胞内色素を含み殻皮状、クランプを欠くか稀にある。実質は円筒形〜紡錘形、長さ80 μm以上、径9-19 μm、内容物やその塊が点在する。ひたシシチアはない、実質は円筒形〜紡錘形、長さ100 μm以上、径5-16 μm、内容物やその塊が点在する。担子嚢は細長いこん棒形、50-70 × 12-16 μm、(1-2)4胞子性、担子柄の長さは11 μmに達する、基部にクランプがある。担子胞子は5〜7角形、9-11(-11.5) × 8-10(-10.5) μm、Q= 1.0-1.2(-1.4)、Q ave= 1.1、わら黄色〜帯ピンク褐色、やや厚壁、油球を含む。

■ 日本新産種 [*Sydowia*, 2010, vol.62(2): 205-223]。早春〜春、ドロノキ樹下に東生状に群生、ドロノキと共生しハルシメジ型菌根を形成する。同時期に発生するシメジモドキ

